

公共施設等総合管理計画改訂に向けたポイントと全国的な傾向

経営財務マネジメント強化事業アドバイザー

川崎 香成

令和5年10月10日に、総務省自治財政局より「公共施設等総合管理計画の策定等に関する指針の改訂について」にて、公共施設等総合管理計画改訂に向けた指針が示されて以降、現在に至るまで新たな指針は示されておられません。

当市における今後の公共施設等総合管理計画改訂について、現計画からその改訂ポイントと全国的な傾向も踏まえ、下記の通り記載します。

1. 改訂のポイント

(1) 基礎数値は公会計と連動

改訂版は地方公会計における固定資産台帳との連携が進められております。基礎数値を作成する際、必ず連携を進めていく。

→ 全国的な傾向：計画当初、公共施設マネジメントに特化したシステム（ソフトウェア）がシステムベンダー中心に販売されましたが、継続的な浸透は無く、かつ公会計が継続的に続いている分、情報の集約化をしていく傾向があります。

(2) 個別施設計画における施設単位の方向性を明確化

中長期的な経費を算出する際、個別施設計画にて施設ごとの運営方針を明確にすることが必要です。その内容を改訂版にて反映する際、施設の方向性を決定すること自体に躊躇することも多数です。

※方向性→現状維持・統合・解体など。

■参考例

中分類	No.	資産名称	取得年度	延床面積 (㎡)	方向性
スポーツ系施設	1	武道館	平成28年度	1,380.50	維持
	2	ふれあいドーム上北	平成11年度	5,213.00	維持
	3	上北屋内練習場	平成4年度	1,540.30	維持
	4	町民運動場	昭和53年度	63.00	維持
	5	町民体育館	昭和55年度	2,602.20	維持
	6	B&G海洋センター	昭和57年度	2,258.00	維持 (今後廃止)
	7	B&G海洋センター艇庫	昭和57年度	199.98	維持 (今後廃止)
	8	南総合運動公園	平成4年度	2,370.64	維持
	9	北総合運動公園	平成4年度	9,561.00	維持
	10	大浦ソフトボール場	昭和54年度	16.50	維持 (今後廃止)

→ 全国的な傾向：施設単位の情報を掲載する団体は多くなってきています。

(3) 数値を見せることの重要性

施設単位の状況をしっかり記載することが重要です。現計画だと大枠の分野単位で保有面積等を捉えていますが、詳細情報を記載していく事も大切です。この点について、個別施設計画と重複する点もございますが、当市の見解として、「こういう状況だから、こうしていく」といった数値面での1つの判断材料を示すことも必要です。

■参考例

番号	施設名称	取得年次	有形固定資産減価償却率	方向性
1	中央公民館	昭和 56 年	81.0%	維持管理
2	下宮地区公民館	平成 7 年	57.5%	維持管理

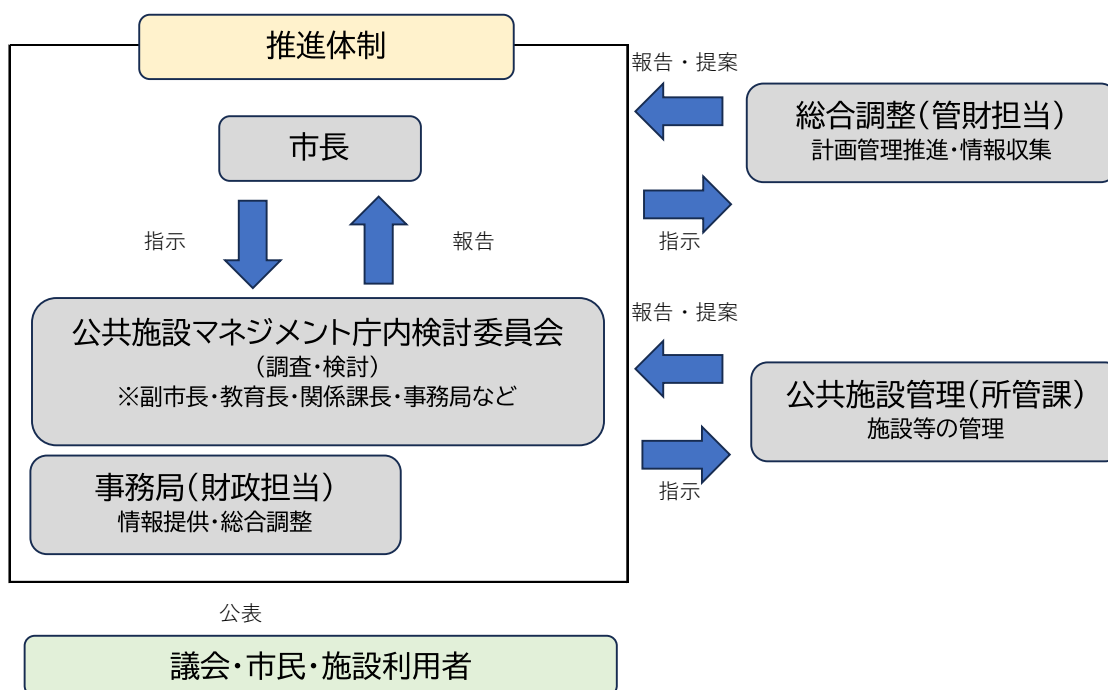
→ 全国的な傾向：各施設の経過年数や資産老朽化率（有形固定資産減価償却率）などを記載しているケースが多いです。

(4) 目標数値の設定

目標数値については、面積・金額・施設数など、何を軸にするかがポイントになります。傾向として「減らす」が先行するイメージですが、統廃合なども含めた適正数値を定めることが重要です。

(5) 改訂後のPDCAについて

公共施設等総合管理計画については「絵に描いた餅」になる傾向があります。全庁的に各公共施設の担当課に実施することが重要です。一方で、公共施設の統廃合や多機能化など、施設の再編などによる市民サービスの向上は、全体の最適化に資するものであることから、施設の規模の最適化や多機能化などの取り組みとして、全庁的な推進体制である「公共施設マネジメント庁内検討委員会」などを編成し、協議のうえ推進します。また、進捗状況については、議会などで報告、協議、審議のうえ推進することが望ましいです。



■参考 施設の方向性に関するパターン

取組方法	取組のイメージ
<p>①更新 老朽化が進んだ施設を建て替えること。原則として、床面積は縮小する。</p>	 <p>A施設 機能① → 建替え → 新A施設 機能①</p> <p>床面積 $A > \text{新A}$</p>
<p>②長寿命化 耐用年数を超えて使用できるよう大規模改修すること。</p>	 <p>A施設 耐用年数 50年 → 大規模改修 → A施設 50年+α</p>
<p>③複合化・多機能化 一つの施設の異なる複数の機能を保有させることにより、運用や維持管理の効率化を図ること。 複数の機能を保有した施設を新設する方法と既存の施設に機能を移管する方法がある。施設を新設する場合は、複合化する施設の床面積の合計より縮小することを原則としている。</p>	 <p>A施設 機能① → 機能① → 新設D施設 機能① B施設 機能② → 機能② → 機能② C施設 機能③ → 機能③ → 機能③</p> <p>床面積 $A + B + C > D$</p> <p>【複合化】 ※A施設、B施設、C施設は他に用途がない場合は廃止</p>  <p>A施設 機能① + 機能② 機能③ ← 機能② B施設 機能② ← 機能③ C施設 機能③</p> <p>【多機能化】 ※B施設、C施設は他に用途がない場合は廃止</p>
<p>④統廃合 余剰施設を同じ機能の施設に統合することにより、保有量を最適化すること。</p>	 <p>A施設 機能① ← 機能① B施設 機能①</p> <p>※余剰B施設は他に用途がない場合は廃止</p>
<p>⑤用途変更 機能を廃止し、新たな機能を保有させること。</p>	 <p>A施設 機能① → 機能①⇒機能② → A施設 機能②</p>
<p>⑥譲渡 地域や民間に現状有姿で譲渡すること。</p>	 <p>公共A施設 → 譲渡 → 民間A施設</p>